



平成 18 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社 大電社
代表者名 代表取締役社長 阪野 正廣
(J A S D A Q ・ コード 9 9 0 7)
問い合わせ先 財務本部
役職・氏名 取締役財務本部長 濱 盛雄
電話 (06) 6632 - 6111

株式会社立花エレテックとの業務・資本提携に関する基本合意について

当社は、平成 18 年 5 月 15 日開催の臨時取締役会の決議を経て、株式会社立花エレテック（東証・大証第 1 部上場）、（「以下、立花エレテック」）との間で、下記のとおり業務・資本提携に関して基本合意いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業務・資本提携の内容

立花エレテックは、「エレクトリック&エレクトロニクス・テクノロジー」のスローガンのもと、FAシステム、半導体デバイス、情報通信、施設の 4 事業に加え、複数事業間で発生する顧客のシステム要求に的確に応えるソリューション事業を展開しており、業界、社会に高い価値を提供できる「電機と電子の技術商社」として、ユーザー仕様のシステム設計、またメーカーとの共同開発を積極的に推進するなど、関連製品の単品販売のみならず、顧客へのトータルソリューションの提供に大きな強みをもっております。

当社におきましても、半導体関連装置への組込センサや一般産業用装置向けのアームロボット機器及びデジタル家電関係のプログラマブル表示器などオートメーション関連機器の販売を主力としており、ソリューション営業を強力に推進しております。

これらのことから、両社にとって販売協調ができる分野が数多くあり、加えて、相互間の技術の補完をすることにより、両社の業容拡大に向けたシナジー効果が期待でき、企業価値向上に大きく寄与するものと考えております。

なお、当社は、当社の主要株主であります阪野壽彦氏が保有する当社株式 1,426 千株（26.41%）を立花エレテックに譲渡することで基本合意したことについて報告を受けております。従いまして、主要株主の異動が発生する見込みであります。

2. 両社の概要について

平成 18 年 3 月 31 日現在

商 号	株式会社大電社	株式会社立花エレテック
主な事業内容	電気器具製品、機械器具製品に関する販売および代行並びに製作に関する業務、前記に附帯する一切の業務	電気機器、電子・情報機器、半導体デバイス、産業機械、設備機器の販売
設 立 年 月	昭和 30 年 6 月 17 日	昭和 23 年 7 月 12 日
本 店 所 在 地	大阪市浪速区日本橋西一丁目 6 番 17 号	大阪市西区西本町一丁目 13 番 25 号
代 表 者	阪 野 正 廣	渡 邊 武 雄
資 本 の 額	1,731 百万円	5,583 百万円
従 業 員 数	126 名	728 名
大株主構成及び 持 株 比 率	阪野 壽彦 27.35% 有限会社阪野興産 7.89% 株式会社サンセイテクノス 5.04% 阪野 正廣 4.89% 大電社取引先持株会 3.80% 因幡電機産業株式会社 3.70% 株式会社立花エレテック 3.70% 中央三井信託銀行株式会社 3.15% 日本航空電子工業株式会社 1.86% 大電社社員持株会 1.81%	三菱電機株式会社 6.86% 株式会社サンセイテクノス 5.85% 立花エレテック従業員持株会 4.43% 株式会社三菱東京UFJ銀行 4.28% 株式会社きんでん 2.98% バンクオブニューヨーク・シーエムクライアントアカウンツイ・アイズ・ 2.70% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 2.62% ステートストリートバンク・トラスト・カパ・ニ 505019 2.48% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 2.31% 立 花 浪 子 2.06%

3. 両社の関係について

資本関係・・・当社は、現在、立花エレテックの普通株式 103,400 株（0.49%）を保有しております。

立花エレテックは、現在、当社の普通株式 216,000 株（4.00%）を保有しております。

人的関係・・・該当事項はありません

取引関係・・・当社が、販売するための電気機器製品の仕入取引を行なっております。

4. 今後の業績予想の見通し

本提携により、業容の拡大等の効果が見込まれますが、業績の見通しへの影響につきましては確定し次第、適時開示いたします。

5. 日程

平成 18 年 5 月 15 日 業務・資本提携に向けた検討開始に関する取締役会決議

平成 18 年 5 月 15 日 意向表明書の提出

以 上